

## 田原市まち・ひと・しごと創生連携会議 委員意見要旨（第4回）

### （1）田原市の人口動向について

- ・改めて田原市の人口動向を見てみると、社会移動が300人転出超で内260人は豊橋市であった。豊橋市との関係、差別化をどう図っていくかが人口の状態に極めて大きな影響を与えると感じた。
- ・短期的には豊橋市への流出をいかに止めていくかということが人口増に繋がっていく。総合戦略を見ていると、短期的にはそれが狙いなのかと思う。

### （2）田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略・アクションプラン集について

#### 1) 総合戦略・アクションプランの推進について

- ・一番大切なのは行政だけが動くというのではなく、市民全体が田原市のまち・ひと・しごと創生で企画されたことを意識することである。
- ・総合戦略を見て今後長いプランの中で長期的に町の資質を高めながらやっていくということがすごく分かった。

#### 2) 基本方針ごとの具体的施策について

##### ①雇用の創出・就労促進について

- ・田原市内で創業するにあたり、行政の方には田原市に合った事業モデルをしっかりと考えていただき、具体的な支援内容やメリットを示してもらえれば安心して創業できるのではないかと。成功事例の提示も後発の創業につながると考える。
- ・企業誘致についても、田原市において優位性のある業種や成功事例などを具体的に提示することにより、この時代にお金を出して創業していこうという関心を持った方が出てくるのではないかと。思う。
- ・農産物販売のマルシェ出展支援等で市外へ行くが、田原市のことが知られていないため、お客さんへ良いものを提供しようとしていても、それがなかなか伝わらない。市として田原市では農業産出額全国1位だけではなく、良いものを作っているという認識を伝える視点が必要ではないかと思う。後継者等も減れば技術等も伝わっていかなくなる。
- ・知多横断道路や、伊勢湾岸自動車道のような道路を作れば田原に来る大きな理由になると思うが、道路だけではなく魅力があれば渥美半島に来ていただけたらと思う。
- ・温泉は集客力があるというのが正直な事業者の感想である。

## ②定住・移住促進について

- ・サーフタウンは随分盛り上がるのではないかと。日本では30万人くらいサーファーがいると聞いており、田原は早春の感じがすごくするので、そういう自然の感覚とライフスタイルをうまく表現できれば良いと思う。
- ・定住・移住促進の支援内容として、若年層が街中に住む場合の家賃補助や、街中住宅の場合は補助金上乗せなどの支援も必要だと思う。
- ・今後、都市部でも空き家が出てくる。色々な面での対策が必要になってくるし、民間と自治体が一緒になって情報というものをどう運用するかが重要になってくる。
- ・地元でサーフィンという日本有数のスポーツ資源があるという環境を活かした教育などに取り組み、小学生を対象としたサーフィン教室など内側からの展開や、オリンピックという非常にレベルの高い水準の競技を目指す等により、全体的にイメージを良くして頂点を高くしていく。それによって環境も違う段階を目指すのも良いであろう。
- ・ふるさと学習の中に企業は入らないのか。大学生・高校生のアンケート調査の中で地元の企業を知らないという意見があった。どこかで企業と学生をつなげる機会を作るのが良いと思う。

## ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現について

- ・結婚支援の婚活イベントの実施については現在体験型の企画を中心に独身男女のふれあいのきっかけづくりを提供している。今後は臨海部の企業との連携、交流や農業後継者へ積極的なイベント参加を働きかけていきたい。また、今後は従来のイベントに加えて農業の体験等をしていただく交流の場も提供していきたい。
- ・子育て安心見守り隊についても先月広報へ載せていただき、序々に乳幼児健診の赤ちゃんの参加率が上がってきている。皆さんにもっと知っていただけたらと思っている。休日の保育園や保育の部分をもっと増えるといいと思う。
- ・介護の面でも充実した環境を作っていないと市民が安心して暮らしていけないと思った。もちろん観光客を誘致するのも大事だが、今住んでいる人たちにいかに定住していただくかということが大事なのではと感じている。

## ④地域の魅力・住み良さの向上について

- ・バスが必要だとしたら地域の共通問題として、皆さんに利用していただくことを考えていく必要がある。バスの確保・維持にあたり、バスをもっと使おうという積極的なPRをするなど、多く利用していただくという事業が必要ではないか。
- ・先日、新東名が開通し、山の方が脚光を浴びており、ますます田原市が忘れられているという状況である。国道259号線の拡幅など、市をあげてこれから運動していくということが非常に重要である。道路事業というのは本当に長い年月がかかるのでしっかり腰を据えて運動していかないと結果が出ない。